

八幡工高新聞

発行者：滋賀県立
八幡工業高校
新聞部
生徒意見体験
発表会
最優秀賞号



工業教育フェア生徒意見体験研究発表会 最優秀賞受賞!

飯田智也くん 大澤乃愛さん 河谷凜愛さん
山本大地くん 川村心優くん 宮瀬葵くん

2月12日滋賀県立陶芸の森産業展示ホールにて工業教育フェア生徒意見体験研究発表会が行われた。本校からは、環境化学科・電気科・機械科の3科から1グループずつがエントリーし、山本くんをリーダーとする環境化学科のグループが最優秀賞を受賞した。昨年度に電気科のグループが最優秀賞を獲得したのに続き、2年連

続での最優秀賞だ。

工業教育フェア生徒意見体験研究発表会とは、県内の工業高校や総合学科で工業系列を有する学校が参加する発表会のこと。3年生で1年間取り組む課題研究の成果を各校の代表グループが発表する。今回は6校8グループが参加した。「環境化学科の魅力を発信したい」と研究に没頭した6人。研究内容は八工新聞卒業号にも詳しく掲載している。ここでは、6人の取り組みについて紹介しよう。



↑ 賞状を手に。工業計測室にて。

「八工ブランド 香水作り」 ～香気物の抽出における香水の製造～

「環境化学科って面白い」 こんな実験してみたかった

「花や果物から匂いを抽出して香水を作ること」に挑戦した6人。匂いの元となる精油の抽出のために、実験を繰り返してきた。最終的にソクスレー抽出器を使用して、優しく香るラベンダーの香水を作り上げた。

発表会当日の様子は「心臓バクバクでした」と川村くんは振り返る。リーダーの山本くんは「正直、自信はありました。優秀賞は間違いなくいける、と。だから優秀賞に選ばれなくて、よっしゃ!と思った」という。他校の発表も、研究内容を深掘りして、聞いていてとても面白かったそうだ。しかし、プレゼンにも力を入れていたため不安はなかった。スライド資料は実験の仕組みをアニメーションで表現し、わかりやすかった。また、審査員に実際に作った香水を嗅いでもらうというインパクト大の演出も。その結果、見事最優秀賞を獲得する。

飯田くんは「みんなでひとつの目標に取り組む良さを知ることができた。就職先でも生きてくると思う」という。また宮瀬くんは「授業で学んだことが活用できてよかった。

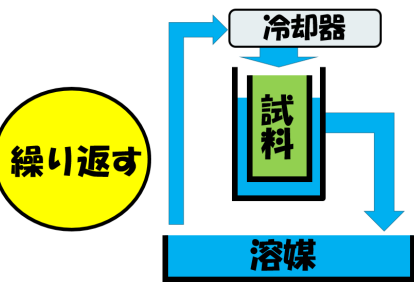
環境化学科の実験って面白い」と語る。河谷さんは「目標としていた香水を作るところまでいけて嬉しい。個人としても仲間としても成長できたように思う」という。大澤さんは「うまくいくよう意見を出し合いながら作業をするのが楽しかった」と一年間の取り組みを振り返る。

インタビュー中も、非常に楽しそうなグループのメンバー達。山本くんは「この経験が自

信になったし、これからの活力にもなる。この気持ちをみんなと分け合えたことが嬉しい」といい、さらに「これから取り組む後輩達にもぜひ同じ気持ちを味わって欲しい」と締めくくった。

一所懸命学んで、実験して、協力しあってきたグループの絆は、優しいラベンダーの香りとともに、鮮明に記憶に残ることだろう。

実験方法その3
ソクスレー抽出器を用いた精油の抽出



↓実際に使用したソクスレー抽出器

→原料のハーブを円筒ろ紙に詰める



←試作のパクチャー抽出液

→精油と溶媒であるヘキサンを分離させるための器具類。



2年生も頑張っています【科学研究部】辻陵受くん 佐藤翼くん 滋賀ジュニアリサーチグラウンドにて橋本建設賞受賞!